



KAMAISHI SHINBUN

復興釜石新聞

2011年(平成23年)

10月1日(土)

第31号

〒026-0044 釜石市住吉町3番3号 TE

日本技術士会水産部会員が開発

海の中のがれき調査に 水中ビデオROV貸し出し



日本技術士会水産部会員が開発した水中ビデオROV

東日本大震災で被災した漁場の復旧調査に利用してもらおうと、公益社団法人・日本技術士会(本部＝東京都港区)水産部会は、海中の様子を確認するた

めのコンパクトROV(自走式水中ビデオ)の貸し出しを行っている。装置は、同部会会員の間根幹男さん(ライオン)社長が震災の復

旧支援を目的に手作りで完成させた。製作費は25万円。
12ポルトバッテリーで作動。40万画素のカメラ、20mmハロゲンランプのライト、4機のスラスター(水平移動2機、垂直移動2機)、30mと50mのケーブルがついている。
操作マニュアルがあり、1時間位で動かせるようになる。潜水深度は20mまで。養殖場やウニ、アワビなどの漁場調査に適している。
レンタル費用は1日4千円(運送日を含む)で、送料は自己負担。漁場調査のための調査員も派遣している。調査員はROVなどの資材を用いて漁場に堆積するがれきの量などを調べ、復旧計画に役立つ報告書を提供する。申し込みは、フェイスコ(電話03・3786・0851)へ。